

市長定例記者会見

日 時：6月23日(木) 午後1時30分～2時

場 所：本庁舎特別会議室

出席者：一宮市 中野市長、福井副市長

報道機関 中日新聞、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、中部経済新聞

本日の案件は5つです。

1 番目は『いちのみや (138) 野菜 (831) プロジェクト』特別バージョンで！～味の素(株)や地元オリンピック選手とのコラボ』についてです。一宮は数字の語呂合わせで「138 (いちのみや)」です。入れ替えると「831 (やさい)」になりますので、野菜に絡めたいろいろなイベントで地域の農業を支援します。去年はキャラクター弁当コンテストを実施しましたが、今年はコロナも少し落ち着きつつあるので、少し盛大にイベントを行います。味の素(株)様と、3つのコラボができるようになりました。一つ目は、JA 愛知西様のご協力による「ナスの収穫体験及び試食会」です。千秋町でハウス栽培されたナスを親子で収穫体験した後、市内の日本料理 江美さんでナスを使った料理を食べるという企画です。二つ目は、「七夕まつりでラブベジ」です。ラブベジとは、味の素(株)様が長く取り組まれている、野菜を愛そう、たくさん食べようというプロジェクトです。味の素(株)様のご協力によるラブベジブースでの啓発に加え、138 マルシェでの地元産野菜や JA 愛知西さんの産直広場で販売している米粉パン等の紹介・販売を通して、もっと野菜を食べようという PR を行います。三つ目は、12月にシンポジウム「野菜がもたらす健康力！」を開催する予定です。会場は i-ビル7階のシビックホールで、出演予定者にリオデジャネイロオリンピックと東京オリンピックに出場された木曾川町出身のプロテニスプレイヤー日比野菜緒さんをスペシャルゲストとして、トークショーを行います。日比野さんは、動物性タンパク質をほとんど摂らない菜食中心の食生活でオリンピック出場について発信されていますので、そのお話を伺えたらと楽しみにしています。もうひとりのスペシャルゲストは、同じく一宮市出身で日本代表チームの管理栄養士である柴崎真木さんです。日本のトップレベルの栄養学について興味深いお話が聞けることを楽しみにしています。

2 番目は『夢の課外授業』の実施』についてです。福岡ソフトバンクホークス前監督の工藤公康さんに、7月11日の午前10時から11時30分まで、貴船小学校の6年生101名を対象に授業をしていただけることになりました。4年前のダンス教育に関する企画で、EXILEのメンバーUSAさんと、(株)ヘッドライン代表取締役の一木広治さんに大変ご尽力いただきました。その一木さんが工藤さんと懇意にされていて、工藤さんがぜひ地元愛知で夢を与えることをしたいということで、一木さんの仲介で今回の企画が実現しました。人材派遣大手のパーソルキャリア(株)さんのご協力もあり、「夢の課外授業」が実現します。工藤さんは、リーダー・指導者として素晴らしい実績をお持ちで、子どもたちだけでなく先生たちも非常に楽しみにしています。私も直接お会いしてお礼を申し上げたいと思っています。

す。

3 番目は「『中学生未来リーダー育成塾 in 白川郷』を開校」についてです。3 年前までは、未来のリーダーとして毎年 1 校あたり約 1 名の中学生を、一宮市の友好都市であるイタリアのトレビーズに派遣していました。最近ではコロナ禍のため派遣を中止していましたが、学校の先生に何か取り組めることを考えていただき、白川郷で未来リーダー育成塾を開校することになりました。白川郷は世界遺産で、世界中から大勢の人が訪れます。グローバルな時代になればなるほど、自分たちのよって立つ足場や、自分たちのキャラ立てが大切だと思います。そのきっかけとして、白川郷は非常に良い場所であり、良い刺激を受けられることを期待しています。

4 番目は「企画展『国登録文化財 葛利毛織工業工場とのこぎり屋根』」についてです。こちらの写真パネルや関係資料などを一宮市博物館で展示する企画展の紹介です。会期は 7 月 16 日から 8 月 14 日までで、国際芸術祭「あいち 2022」より少し早めにスタートします。会期中の特典は、国際芸術祭のチケットを受付で提示していただければ、博物館のチケットが 2 割引になります。また、企画展のチケットの提示で国際芸術祭のチケットが 100 円引きになります。

5 番目は「市長の資産等の公開」についてです。透明性を確保する観点から毎年私の資産を公開しています。

以上、本日の説明でございます。

質疑応答の概要

■ 「いちのみや (138) 野菜 (831) プロジェクト」特別バージョンで！

～味の素(株)や地元オリンピック選手とのコラボ

(記者) 3つの企画がありますが、そのすべてで味の素(株)、JA 愛知西、市がコラボするのでしょうか？

(市長) はい。その通りです。

(記者) 今回のコラボ企画は、味の素(株)側からオファーがあったのですか？

(担当) 以前から、味の素(株)様からお話をいただいていたのですが、コロナ禍で進んでいませんでした。この度、味の素(株)様より再びお声がけをいただきました。

(記者) 一宮市へのオファーのきっかけは何でしょうか？

(副市長) 一宮市の施策として「野菜プロジェクト」を実施しているという情報を、味の素(株)様がウェブサイトなどから入手されたと推察しています。

(市長) 野菜をたくさん摂取してもらうことで、自社商品の売り上げ向上にもつながりますし、関係者がウィン・ウィンとなります。市長が自ら「野菜をたくさん食べよう」と言ってキャンペーンに注力しているのは、この辺ではおそらく本市だけです。それが理由で、味の素(株)様からお声がけいただけたならありがたいお話です。

(記者) 一宮市以外の自治体でも、コラボ企画は実施されたのでしょうか？

(担当) 岐阜市、高山市、三重県で実施されました。

(市長) 今年は、味の素(株)様とのコラボ企画を行います。他にも企業からコラボ企画のお話をいただければたいへんありがたいことですので、前向きに取り組んでまいります。

(記者) 一宮市の野菜摂取量について、統計データはありますか？

(市長) 愛知県は男性別、女性別に見ても野菜の摂取量が低いのですが、これらは県単位だけでしか公表されていません。

■「中学生未来リーダー育成塾 in 白川郷」を開校

(記者) 企業経営者による講演に、JTB名古屋教育事業部を選んだ理由は何でしょうか？

(市長) 世界遺産の白川郷には、世界中から観光客が集まります。その魅力を世界に発信し、人を呼び込むノウハウを持つ観光分野のトップ企業ということで期待をしています。

(記者) コロナ禍以前も毎年、白川郷で実施していましたか？

(市長) 3年前まではイタリアのトレビーズへの派遣でしたが、コロナ禍により海外への派遣を中止していました。白川郷で実施するのは今回が初めてです。

■企画展「国登録文化財 葛利毛織工業工場とのこぎり屋根」

(記者) 連携企画展の対象企業は、葛利毛織工業の他にもありますか？

(市長) 国島(株)様の工場は、国際芸術祭「あいち 2022」の会場で芸術家の作品が展示されます。他に、繊維工場をアートギャラリーとして再利用している「のこぎり二」も会場となります。ちなみに、葛利毛織工業様の建物群は、令和2年に国の登録有形文化財に指定されたことから、特別扱いされています。

(記者) 企画展は芸術祭の一環として行うのでしょうか？

(市長) 市の独自企画です。

(担当) 国際芸術祭には、連携企画というものがあります。愛知県に一宮市の企画展をお示したところ連携企画に認定されました。

■市長の資産等の公開

(記者) 昨年と比較して、課税標準額が変動していますが、評価額の変動によるものでしょうか？

(市長) はい、そうです。

■物価の高騰について

(記者) 物価高騰に対し、市独自の経済政策はお考えでしょうか？

(市長) 市議会からも、6月定例会の一般質問でさまざまなご提案をいただきました。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に余裕がありますので、効果的な対

策を考え、9月補正予算に盛り込む準備をしております。

■衆議院議員選挙の小選挙区の区割り見直しについて

(記者) 衆議院議員選挙の小選挙区の区割りが見直されました、ご意見はありますか？

(市長) 衆議院議員は国と地元との言わば“パイプ役”ですので、これまで地元にお2人いらっしゃったことで、恩恵を受けていた部分がありました。今後、区割りが1つになりますが、1票の重みを揃えるというのが国のルールですので、それに従うべきものと考えています。市域の一体感の醸成につながれば前向きなことだと思います。